

中学生による職場体験

佐倉市立白井西中学校・南部中学校、四街道市立旭中学校の3校が当センターにおいて職場体験を行いました。体験内容は、遺跡から出土した土器の泥を水洗いで落とす作業でした。

2年生の生徒からは、次のような感想がありました。「土器を洗うなんてつまらない仕事をずっとやるなんていやだなあと思いながら、いざ洗い始めるといろいろな形の土器や土偶の足も見つけたり楽しかったです。」「今度は発掘調査や土器の復元もやってみたいです。」というものでした。

生徒達は実際に土器を触れ、縄文時代の生活の一部を肌で感じることができたのでしょう。この体験をきっかけに将来考古学者になろうという生徒がいることを楽しみにしております。



旭中学校職場体験

人頭形土製品 海を渡って上海へ

昨年の7月に考古資料展示室がリニューアルオープンしました。その展示室を飾る成田市南羽鳥中岫第1遺跡E地点出土縄文時代の「人頭形土製品」は、この1月からはるばる海を渡って中国の上海博物館で、文化庁が主催する「日本文物精華展」に展示されます。

図書案内 調査報告書を購入できます

最新の報告書のご案内を致します。ご希望の方は本部までお問い合わせ下さい。

- 第84集 大畑 - 3遺跡 栄町 142頁 1,900円
旧下総国最大規模の龍角寺古墳群に隣接する遺跡。とくに埴輪を伴う古墳、奈良時代埴生郡御跡推定地に関連する掘立柱建物跡群の調査成果。
- 第158集 坂戸念仏塚西遺跡 佐倉市 88頁 700円
縄文時代中期後半の集落跡。東京湾岸から最も内陸(約10km)に位置するイボキサゴ主体の主鹹貝塚を伴う。内陸貝塚の流通ネットワーク、小竅穴出土の埋蔵について考察編有。貝塚研究者必見。
- 第159集 吉見台遺跡A地点 佐倉市 790頁 2,800円
千葉県の後・晩期遺跡を代表する、学史的にも著名な吉見台遺跡初の本調査発掘調査報告書。大型住居跡2軒、貝塚(ヤマトシジミ主体)などの遺構。
- 第162集 萩原長原遺跡・貉谷塚群 印旛村 205頁 1,800円
弥生時代後期でも前半期を主体とする。生焼けの土器が出土し、遺跡内で土器を製作していたと見られる。印旛沼北岸域の様相を知る基礎的資料。
- 第168集 八木山ノ田遺跡(第2次) 佐倉市 53頁 900円
特筆されるのは8世紀第 四半期の竅穴状遺構から、土師器甕体部外面に顔が描かれた墨書土器が出土した。面相は奈良・新薬師寺の「薬師如来坐像」の要素をもつ。

《発掘中の遺跡》
1～3月予定

がんばっています!

- <成田市>
五十石込跡... (近 世) 台方下平II遺跡他(縄文時代)
- <佐倉市>
内田端山越遺跡(平安時代) 井野安坂山遺跡他(縄文時代)
鍋山西ノ切遺跡(古墳時代) 曲輪ノ内遺跡.....(縄文時代)
白井屋敷跡.....(中 世)



内田端山越遺跡

《室内作業》

こっちも やっています!

- <本部>
佐倉市鍋木198 - 3 ☎043 (484) 0126
先崎西原遺跡(佐倉市 縄文~奈良・平安時代)
権現堂遺跡(四街道市 弥生~中世)
南ノ作遺跡(四街道市 縄文~奈良・平安時代)
浮矢遺跡I(四街道市 奈良・平安時代)
六崎外出遺跡(佐倉市 弥生、古墳時代)
城山ノ作遺跡(佐倉市 縄文時代)
柳沢牧野馬土手(八街市 近世)
四街道市内出土遺物整理(四街道市)
- <成田事務所>
成田市飯仲字台畑330 - 1 ☎0476 (26) 7208
岩名古墳群(佐倉市 古墳時代)
川葉館跡(成田市 古墳~中世)
宮本 宮後遺跡B地区(佐倉市 古墳~奈良・平安時代)
郷野遺跡(四街道市 弥生~中世)
天神台遺跡(第8次)(印西市 弥生、奈良・平安時代)
大久保遺跡(印西市 古墳、奈良・平安時代)
駒形北遺跡(印西市 縄文、弥生、古墳、奈良・平安時代)
土本佐倉上宿遺跡(酒々井町 平安時代、中・近世)
酒々井町内出土遺物整理(酒々井町)

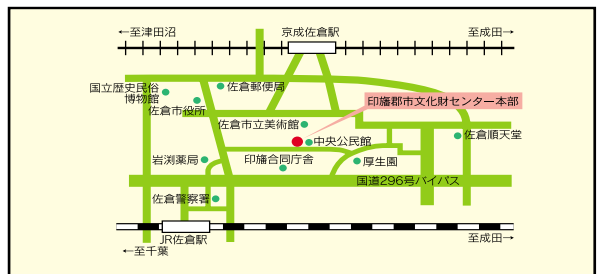
《ご案内》

企画展のお知らせ 瓦に刻まれた文字資料

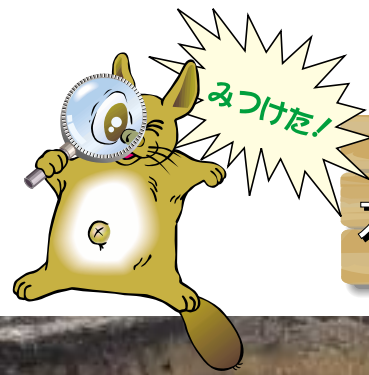
3月から考古資料展示室では、企画展として栄町龍角寺で調査を行った「五斗碁瓦竪跡の資料展」を開催する予定です。現在行っている「最新出土資料展」をご覧になっていない方は是非この機会にお越し下さい。

《おしらせ》

上記の発掘現場、室内作業は見学できます。ご期待に添えない場合もありますので、かならず、事前にご連絡下さい。詳細は本部へお問い合わせを！
本誌は、年4回の発行の計画です。第8号は4月発行の予定です。今号のご意見などをお聞かせ下さい。



平成13年1月15日 043 484 0126(代) 043 485 0871 千葉県佐倉市鍋木町198-3 〒285 0025 印旛都市文化財センター 発行・編集 財団法人 印旛都市文化財センター



りゅうふくじゅうら
本埜村龍腹寺裏遺跡



本埜村龍腹寺裏遺跡
先土器時代(旧石器時代)
石器集中区

本埜村龍腹寺裏遺跡は本埜村の滝地区にあり、平成12年6月5日から30日にかけて確認調査を実施し、それに基づいて8月1日から本調査を行いました。この遺跡は調査の結果、縄文時代早期の条痕文系の土器を主体とした集落であると考えられますが、更に下層から人類が土器を持つ前の時代である先土器時代(旧石器時代)に属する石器やその石器を作るときにでる剥片や破片が出土しました。

この時代は主に打製石器と言って、石を打ち割って作る石器を道具としていました。ただし日本においては、ある限られた時期に石を打ち割って作った斧(石斧)の刃部を磨いて作り出す『局部磨製石斧』と言う道具が存在します。これは、今から約2万2千年から2万4千年前に噴火した『始良カルデラ(鹿児島県)』の火山灰である『始良Tn火山灰層』という特徴的な火山ガラスを含む火山灰層の更に下にある層から出土し、その層を鍵層(地層の逆転など特殊な堆積状況でないかぎり、広域に降り積もった火山灰を手がかりとして年代を決める方法で鍵となる層)として約2万7千年から2万8千年位の石器であると考えられています。この局部磨製石斧が龍腹寺裏遺跡からも出土し、地層の堆積からもほぼ同じくらいの年代であることから、ある特徴的な遺物の分布を示す可能性ができました。

この時期、『環状ブロック群』と呼ばれる遺物の集中する場所(ブロック)が環状になる遺物分布を示す遺跡が関東を中心に60カ所以上確認されています。その中でも群馬県と千葉県に発見例が多く、龍腹寺裏遺跡もそのひとつである可能性が極めて高いと言えるでしょう。調査は来年度も実施される予定となっており、そこでの成果が期待されます。



龍腹寺裏遺跡出土 局部磨製石斧

まさきにしはら 佐倉市先崎西原遺跡



縄文時代早期の屋外炉



弥生時代後期の住居跡



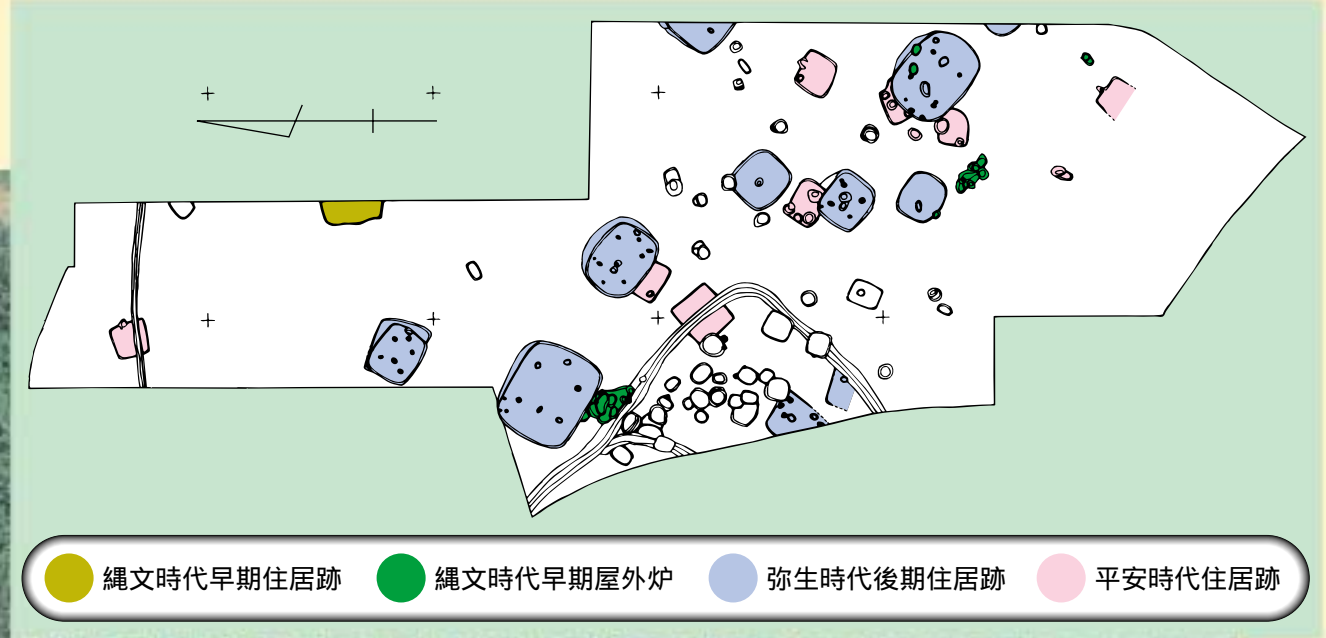
平安時代の住居跡

まさきにしはら
先崎西原遺跡は佐倉市の北西に位置し、八千代市との市境にあります。今回調査を行った地点は標高約15mの台地の突端にあり、東方には印旛沼を望むことが出来ます。

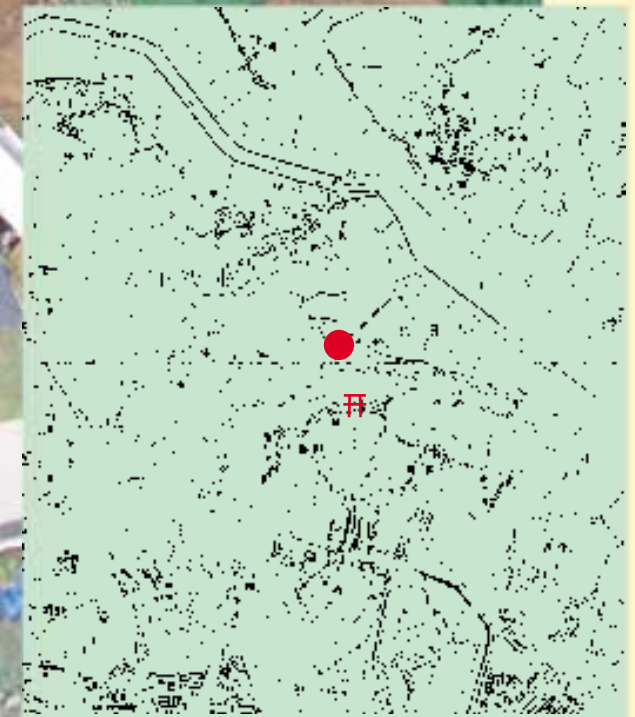
発掘調査は平成12年3月から7月下旬にかけて実施しました。その結果、縄文時代早期（約7,000年前）の屋外炉や、弥生時代後期（約1,800年前）の住居跡、平安時代（約1,100年前）の住居跡やお墓が見つかり、それぞれの施設からはその当時使われた土器や石器が出土しました。特に弥生時代の住居跡からは170点を超えるガラス小玉が出

土しています。これは装飾品（首飾りなど）として使われたものでしょう。また、平安時代の住居跡やお墓からは土師器の壺、甕、甑等の生活用具と共にフィゴの羽口や鉄滓が多数出土し、この地で製鉄が行われていたことがうかがえます。

この遺跡から南へ300m程の所にある鷲神社は937年の創建（佐倉風土記）とされています。この遺跡で見つかった平安時代の集落跡とほぼ時期が一致することから、何らかの関係があると考えられます。またこの頃、下総から常陸国（茨城県）、武蔵国（東京都・埼玉県）にかけて平将門の乱（935～940年）が起こりました。佐倉市内には将門ゆかりの地が点在しています。もしかすると先崎にも将門が訪れ、この地で武器を作っていたのかもしれない。



発掘調査のようす



● 先崎西原遺跡 □ 鷲神社
先崎西原遺跡の位置と周辺の地形



平安時代の墓跡を掘る調査補助員